

1月27日
**児童書など500冊が体育館に並び
 ブックフェスティバルを開催 | 和琴小学校**



道立図書館による「ブックフェスティバル」が1月27日、和琴小学校（渥美清孝校長）で開催されました。市町村活動支援事業の一環で、子どもたちに本に親しんでもらおうと行われているものです。会場となった同校体育館には、道立図書館の児童書や仕掛け絵本など約500冊が敷き詰められ、体育館に足を踏み入れた児童9人からは歓声が上がりました。「絵本の会おはなしはらっぱ」の皆さんによる読み聞かせなどを楽しんだ後、児童たちは本の間を歩き回りながら読みたい本を探し、1人10冊まで選びました。6年生の齋藤来夏さんは「本が好きなので、いっぱい本があってワクワクした」と笑顔で話しました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!
 町づくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけられます。お気軽にご連絡ください。

1月28日
**文化や特技を交流のきっかけに
 町民×移住者交流会を開催**



本町の地域おこし協力隊移住対策支援員の小島萌隊員による「第1回町民×移住者交流会」が1月28日、町公民館で開催されました。町民の方と、町に移住をした方や移住を検討している方の交流の場を作ることを目的に、今回は、大阪市と本町の二拠点生活をしている久戸瀬由子さんを講師に迎え、書道体験をする「新春書道サロン」を実施。14人が参加し、書道の師範免許を持つ久戸瀬さんに教わりながら、それぞれの新年の抱負や好きな言葉を書きました。その後は、参加者全員でお茶を飲みお話しをする交流会も実施し、皆さん積極的に交友の輪を広げていました。今後も、さまざまなテーマで開催を予定しています。

1月28日
**SDGsに繋がる弟子屈の魅力を体感
 SDGs講習会を開催**



町では1月28日、町民の皆さんを対象とした第2回SDGs講習会を町公民館で開催しました。講師にはSDGsの先進的な取り組みを進める下川町在住のeggplant代表の奈須憲一郎さんを迎え、今回は「体感」をテーマに開催。7人が参加し、奈須さんから下川町の取り組みを学んだ後、下川町の事例を参考にしながら摩周大通り周辺を散策。温泉熱を活用したロードヒーティングなど、SDGsの視点から町の魅力的なものを探索し、昼食で地産産食材を使用したSDGs仕様のお弁当を味わいました。午後からは、散策で撮影した画像を実際にSNSへ投稿し、町の魅力を発信するなど、さまざまな形でSDGsを実践しました。

2月3日
**みんなの心の中にある鬼をやっつけよう
 認定こども園ましゅうで節分の豆まき**



認定こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）で2月3日、節分の豆まきが行われました。節分を向かえるこの時期に毎年行われています。初めに、先生が節分や鬼についてのお話をし、節分のいわれや豆まきの掛け声をみんなで確認。みんなの心の中にある「泣き虫鬼」や「怒りんぼう鬼」を退治すると約束しました。その後、ピアノに合わせて豆まきの歌を終えたところで、ステージ上に鬼が登場しました。園児たちは果敢に豆を投げ、無事に鬼を退治して一安心でした。

1月31日
**ふるさとの素晴らしさを再認識してほしい
 水越さんの写真集贈呈式を開催 | 観光協会**



（一社）摩周湖観光協会（渡辺隆幸会長）は、町在住の写真家の水越武さんが令和4年11月に刊行した写真集「アイヌモシリ オオカミが見た北海道」を町内の各学校に贈り、その贈呈式が1月31日、文化センターで開催されました。写真集には道東の美しい風景が数多く収録されていることから、町民の方や子どもたちにふるさとの素晴らしさを再認識してほしいという思いで寄贈した。寄贈を受けたのは町、町教育委員会、町内各小・中学校、弟子屈高校で、式ではそれぞれの代表者4人に渡辺会長から写真集が手渡されました。水越さんも参列し「若い人に見てもらえるのはたいへんうれしい」とお話ししました。



冬空を彩る打ち上げ花火 雪像づくり | 認定こども園 バギーが引くそり



牛乳を飲もう！早飲み大会 にぎわう会場

11日の夜には摩周冬空花火の打ち上げが行われ、観客からは歓声が上がっていました。

当日の会場は、巨大な雪と氷の滑り台が設置されたほか、チューブスライダーやバギーが子どもたちの人気を集め、カヌー体験やお菓子里まきなど、趣向を凝らしたイベントを実施。チーム対抗で行われた人間ばんぼでは、2日にわたり熱い戦いが繰り広げられました。

摩周☆スノーランド 2023（同実行委員会主催）が2月11・12日の両日、ふれあいスペースコラールで開催されました。

イベントの少ない冬季の町を活性化させ、子どもたちや町民の皆さんに弟子屈の冬を楽しんでほしいとの思いで令和2年から開催されている。翌年からは新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止や花火の打ち上げみの開催となっていたことから、会場に集まったの実施は3年ぶりとなりました。

当日の会場は、巨大な雪と氷の滑り台が設置されたほか、チューブスライダーやバギーが子どもたちの人気を集め、カヌー体験やお菓子里まきなど、趣向を凝らしたイベントを実施。チーム対抗で行われた人間ばんぼでは、2日にわたり熱い戦いが繰り広げられました。



人気の滑り台とチューブスライダー

**多彩なイベントで
 冬の寒さを楽しむ**
 摩周☆スノーランド2023



町の話題



CloseUp Topics

川湯温泉の再生に向けて

川湯温泉街まちづくりマスタープラン住民説明会



ホテル華の湯跡地

このマスタープランでは「湯の川」を核に、あらたな入浴施設の整備や、湯の川の周辺整備による賑わいを作り出すこと、飲食店街の再整備などが計画され、川湯温泉街全体を周囲に溶け込む明るい森として、地域と行政が一体となった整備を推進します。

また、説明会では、2月13日に、川湯温泉街で宿泊事業を行うことになった（株）星野リゾート（十川隆代表取締役、環境省、町との間で、「阿寒摩周国立公園川湯温泉廃屋撤去跡地における宿泊事業 事業実施協定書」が締結されたこと）も報告されました。



マスタープランの説明を受ける参加者ら

町主催による阿寒摩周国立公園弟子屈町川湯温泉街まちづくりマスタープランの住民説明会を2月14日、川湯ふるさと館で開催しました。

このマスタープランは、観光客の減少が続く川湯温泉街において、環境省が進める国立公園満喫プロジェクト推進と合わせ、川湯温泉街再生のために、町が策定を進めています。

説明会には、川湯在住者を中心とした20人以上の参加者と、関係者と合わせ、40人以上が参加しました。